

血液一般検査（血液中の白血球・血小板について調べています）

項目	疑われる異常や病気・対策
血小板数	<b>高</b> 血液疾患・出血などで見られます。 <b>低</b> 血液疾患・感染症などで見られます。
白血球数	<b>高</b> 血液疾患・感染症などでみられます。喫煙・ストレスの影響も受けます。 <b>低</b> 血液疾患・感染症などで見られます。

貧血検査（血液中の赤血球について調べています）

項目	疑われる異常や病気・対策
赤血球数	<b>高</b> いわゆる多血症を疑います。脱水やストレス、心臓や肺の病気、血液の病気などで高くなることもあります。問題のないこともあります。
ヘモグロビン	<b>低</b> いわゆる貧血を疑います。鉄・たんぱく質・ビタミンの摂り方が少ない、胃腸や婦人科系の出血のある場合、胃腸の手術後や病気のために栄養素の吸収されにくい場合などに、低下します。
ヘマトクリット	
MCV	貧血の原因を探す手助けになります。
MCH	
MCHC	
血清鉄	ヘモグロビンの原料となる鉄分量を調べています。

白血球分画（白血球の異常があったときの原因を細かく調べます）

項目	疑われる異常や病気・対策
好中球	<b>高</b> 感染症やその他の炎症など <b>低</b> 血液疾患・ウイルスの感染など
好酸球	<b>高</b> 寄生虫の感染・アレルギーなど
好塩基球	<b>高</b> 血液疾患など
単球	<b>高</b> 血液疾患・膠原病など
リンパ球	<b>高</b> 血液疾患・ウイルス感染など <b>低</b> 血液疾患・膠原病など

血中脂質検査（体にとって必要な物質で、動脈硬化と関連がある物質です）

項目	疑われる異常や病気・対策
総コレステロール	<b>高</b> 動物性脂肪の取りすぎ、糖尿病、アルコールの飲みすぎ、家族的素因などで上昇します。動脈硬化や虚血性心臓病を起こしやすくなります。
中性脂肪	<b>高</b> カロリーの摂り過ぎ：脂肪・糖質（穀物・砂糖・果物）・アルコールなど。糖尿病・肥満などのとき上昇します。
HDLコレステロール（善玉コレステロール）	<b>高</b> 飲酒・運動などで上昇しますが、動脈硬化を予防するので問題ありません。 <b>低</b> タバコ・糖尿病・肥満・運動不足・などで低下します。HDLコレステロールが低いと動脈硬化を起こしやすくなります。
LDLコレステロール（悪玉コレステロール）	<b>高</b> 生活習慣や体質などで増加します。女性は閉経後に値が増加することがあります。動脈硬化を進行させ、心筋梗塞、脳梗塞を起こしやすくなります。 <b>低</b> 栄養が不足した場合や肝臓の病気などで低下することがあります。

糖尿病検査（糖尿病の状態を検査しています）

項目	疑われる異常や病気・対策
空腹時血糖	<b>高</b> 糖尿病などで上昇します。 <b>低</b> 絶食・内分泌疾患・すい臓病などで認められます。
HbA1c	<b>高</b> 過去1～2ヶ月間の平均血糖値を反映しています。糖尿病で上昇します。
糖負荷試験	糖尿病の状態をより細かく検査します。 <b>高</b> 境界型：糖尿病に近づいている状態です。生活習慣を改善しましょう。糖尿病型：強く糖尿病を疑いますので、内科を受診しましょう。

感染症・免疫検査（細菌・ウイルスの存在を調べる検査です。リウマチなども調べます）

項目	疑われる異常や病気・対策
TP抗体	+ 梅毒の検査です。膠原病やそのほかの感染症でも認められます。

炎症検査（体のどこかで炎症が起こっていないか調べています）

項目	疑われる異常や病気・対策
RF定量	<b>高</b> リウマチ性関節炎の検査です。膠原病でも認められます。
CRP定量	<b>高</b> 感染症・外傷・心筋梗塞・こう原病などで上昇します。各種癌で上昇することもあります。

肝炎ウイルス（肝炎に感染しているか調べています）

項目	疑われる異常や病気・対策
HBs抗原	+ B型肝炎に感染しているかを検査しています。
HCV抗体	+ C型肝炎に感染しているかを検査しています。

肝機能検査（肝臓・胆のうの状態を調べます）

項目	疑われる異常や病気・対策
GOT (AST)	<b>高</b> 肝臓に含まれる酵素で、肝炎・脂肪肝・アルコール性肝障害・肝硬変・肝腫瘍などで上昇します。その他心筋障害・骨格筋の病気で上昇することもあります。
GPT (ALT)	
γ-GTP	<b>高</b> 慢性肝炎・アルコール性肝障害・胆道の病気・肝硬変・肝腫瘍などで上昇します。
ZTT	<b>高</b> 肝機能障害・慢性肝炎など。慢性の炎症・膠原病などでも見られます。 <b>低</b> 血液の病気で認めます。
ALP	<b>高</b> 胆管の炎症・結石・腫瘍などの胆汁の流れの悪くなる病気、肝炎・脂肪肝・アルコール性肝障害・肝腫瘍・肝臓以外の病気で上昇することがあります。 <b>低</b> 甲状腺の病気、栄養状態不良などで見られます。
総ビリルビン	<b>高</b> 急性肝炎・慢性肝炎・肝硬変などの肝臓の病気、胆石・胆道の腫瘍などにより胆汁の流れが悪くなる場合にありますが、体質的に高い場合もあります。赤血球が壊される病気（溶血）でも上昇します。
総蛋白	<b>高</b> 脱水などで血液が濃縮されたとき、慢性炎症・慢性肝炎・肝硬変などで蛋白の量が上昇することがあります。
アルブミン	<b>低</b> 慢性肝炎・肝硬変などで、たんぱく質が肝臓で十分につくられない時、たんぱく質のとりかたが不足しているとき、吸収されにくいときに下がります
A/G比	<b>高</b> 免疫機能の低下などで見られます。薬物の影響も受けます。 <b>低</b> 肝機能障害・慢性肝炎・腎臓病・血液の病気・栄養状態の低下などで見られます。

腎機能検査（腎臓の動きを調べています）

項目	疑われる異常や病気・対策
クレアチニン	<b>高</b> 主に腎臓病などで認められます。脱水などでも認めれます。

膵機能検査（すい臓の状態を調べています）

項目	疑われる異常や病気・対策
アミラーゼ	<b>高</b> 主にすい炎で認めます。唾液腺の異常でも認めます。 <b>低</b> すい臓の機能低下（慢性膵炎など）で認めます。

痛風検査（高尿酸血症の検査です）

項目	疑われる異常や病気・対策
尿酸	痛風などで認めます。腎臓病でもみられます。